



NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace



RKK の今後に向けて Toward Future of RKK

NPO 法人 RKK 理事長 深水 智明
Tomoaki Fukami, Chairman of RKK (NPO)



留学生と語り合う会 (RKK) はこの新年度に設立から18年目を迎えます。RKK では、発足当初に比べ、現状には留学生の支援ニーズ等や RKK メンバー、取り組み等の内外共に環境の変化が見られます。

このような背景を踏まえ、新年度計画を検討するに当たり、初めて新年度運営懇談会を開催し、中長期的かつ広い視野で今後の活動について意見交換を行い、現状の問題点の指摘や多くの前向きなご意見・ご提案をいただきました。それによって、喜びと甲斐もあり今後には続くボランティア活動を模索する必要があるかと思いました。

最近では、日本語指導のみならず各種交流にも多くの留学生が参加されるようになりました。これはひとえに、会員皆様の熱意と留学生への特徴ある日本語指導体制や諸活動によると推察されます。

これらの活動の特徴を活かしながら、新年度には現実の課題に対処し、質的レベルアップを進め、さらに今後の活動に新しい風を取り入れながら、可能な範囲で新しい活動にチャレンジすることが望ましいと考えます。それによって、RKK の目的である国際親善・交流のためのボランティア活動がより楽しく、活発に進みますことを望みます。そして、2年後にはますます元気で、設立20周年を迎えられるよう期待します。

This year is the 18th year since RKK was established. The current environment in and out of RKK has changed since then, such as the needs of supporting international students, RKK members, our efforts and so on.

Based on such a backdrop, we first held the working meeting for a new fiscal year to consider the annual plan. At the meeting, opinions about the future activities from mid-and long-term, broader perspectives were exchanged, and we received indications of current problems and a lot of positive feedback as well. That made me think about the necessity of seeking volunteer activities which continue for the future with joy and worth.

Recently, many international students have joined not only Japanese lessons but various events. I suppose this is due to member's enthusiasm and the characteristic teaching systems and activities.

In this year, utilizing features of these activities, I expect us to deal with current problems and raise the quality of our activities, and also it is desirable to challenge ourselves to the new activities as much as we can while accepting a new wind from now on. By doing so, I hope our volunteer activities for international goodwill and exchange, which are RKK's purpose, become more enjoyable and active and we will celebrate 20th anniversary more vigorously two years later.

(Translated by Azusa Sugita)

お知らせ

● RKK 通常総会および懇話会 ●

期日: 5月5日(木、祝日)
場所: かながわ県民活動センター R301
時間: 総会 13:00~14:00
懇話会 14:15~16:00
テーマ 日本文化と私

● STAR FESTIVAL at HIRATSUKA ●

Date: July 9th 2016 (Sat) 12:30-16:30
Meeting Time & Place
12:15 at Hiratsuka Citizens Activity Center
For details, click scan this code.



● Early Summer Stroll around Koajiro Forest ●

Date : June 19, 2016 (Sun.)
Meeting : 8:50 a.m. at Misakiguchi Stn., Keikyu Line
Place : Koajiro Forest in Miura-shi, Kanagawa Prefec
For details, click here, or scan this code,
and find the above event.
Please register for participation.



留学生との交流

わたし ころりゆう
私たちの交流

い ご ころりゆうかい
RKK囲碁交流会にどうぞ！



文化・ファミリー交流グループ 山口晴夫

わたし じん さい まえ ていねんご の たの い ご
私自身、60歳を前に定年後の楽しみのために囲碁を
はじめました。それまでは、囲碁と言えば、中国・韓国・
日本等々東アジア限定で楽しんでいたの、ネットを通じて
想像していましたが、囲碁を始めた後、ネットでいろいろと
見てみると世界中で打たれていることを知りました。それ
以降、囲碁を使って何か国際交流ができないかと考え始



めました。
昨年さくねんの夏なつに、文化・ファミリー交流Gのスタッフとお会い
して、RKK内に囲碁で交流する会の立ち上げを模索してき
ました。顧問の大田さんとも話し合い、最初に11月の
RKKフェスティバルで囲碁対局のデモを行い、会を立
ち上げることを前提にしたチラシを配布しました。

今年ことしになって留学生メールリンクに活動開始のチラシを
配布し、会への参加を呼びかけました。幸い、中国から
の留学生のLiさんの参加希望をいただき、2月末に
第一回目の囲碁交流会を開催することが出来ました。

現時点では私たちの会は囲碁用語でいう「布石」が始
まった状況です。理想的には留学生を含めた老若男女
が囲碁を楽しむ場所を作りたいと思っています。囲碁の経
験のある人・ない人、留学生・日本人等々囲碁に興味の
ある方の参加をお待ちしています。

Invitation to RKK GO Meeting – RKK 囲碁交流会へのお誘い

We welcome Go experienced players, or inexperienced persons
who are interested in Go to our meeting.

The meeting opens as:

1. Location: Kanagawa Kenmin Center 2F, KANAFAN Station
2. Hours: 1pm – 5pm (Last Saturday of every month)

For more information, please mail to . Kesajiro0822@yahoo.co.jp
(Mr.Haruo YAMAGUCHI)

留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・日常会話(Daily Conversation) ・ビジネス会話(Business Conversation)
- ・卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Thesis & Report)
- ・新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田 (Tsuda) e-mail: sakura_tudakei@ybb.ne.jp
Home Page : <http://homepage3.nifty.com/rkk/>

留学生のたより

留学生への就活アドバイス



私のアドバイスは一言で言えば、「心身ともに動く」ことである。

徐 智賢 横浜国立大学大学院（中国）

「格好」「顔」

●**格好**：日本の就職活動は一見マンネリ化しているように見える。同一された身だしなみ（髪型、服装、化粧など）、面接は同じような質問（自己紹介、志望動機など）。まず就活生らしい「格好」から自分を整える必要がある。「外見」という「かたち」から先に入ると、心も何となく就活モードのスイッチを押したような感じになる。全員統一される中、自分の個性を出し、面接官に深い印象を残されることは大事なポイントになる。この個性は外面ではなく内面にある。

●**顔**：就活は「顔」じゃないが、やっぱり「顔」だ。「顔」じゃないのは「綺麗」じゃないことだ。顔のせいで、就活がうまくいかないことはない。でも、やっぱり「顔」だと言っているのは、「顔」から読み取れる貴方の「志」、貴方という人間からだ。皆、明るくて笑顔の素敵な人がいいに決まっていますと思いが込みがあるが、十人十色で、会社としては各特性を持つ人材を欲しがるので、この「バランス」を考えている。自分の性格を持ち味として、自信をもって正々堂々とアピールすべきである。貴方の情熱は顔にも滲み出ているはずだ。しかし、初対面の人と会うので、世界共通語である「笑顔」を忘れてはいけない。

「等身大」「心構え」

●**等身大**：自己アピール時、どうしても自分をよく見せようとする。日本の会社は素直で、正直者が好きだ。無理して本当の自分を越えてよくみせようすると、例えば入社できても、後で苦労するのは自分になる。ありのままの自分を受け入れる会社なら、入社した後、真の自

分で居られる。就活は「お見合い」によく例えられる。結婚前に自分にとって居心地のいい相手を選んだほうがいい。有名企業は誰でも入りがいいが、目標設定は知名度だけではなく、自分の能力、才能発揮、性格にあった会社をお勧めする。

●**心構え**：挫折は待っている。最初から自分に言い聞かせたほうがいい。とんとん拍子に予定まで行くケースもあるが、就活生の誰でもが一度二度は挫折したはずだ。

「武器」「呪い」

●**武器**：就活のために、いくつかの「武器」を身につけることをお勧めする。一つは「日本語」。日本の企業で就職するなら、日本語を日々上達させることを決して怠らないでほしい。二つは「ニュース」。就活の間はニュースも毎日チェックするようにしたほうが必ずいくつか役に立つ。

●**呪い**：なんとかなる。魯迅の「阿Q精神」で失敗した自分を慰めたり、李白の「天の我が材を生ずるや必ず用有り」を信じ、行き詰まった自分を労わったりして、また元気になって頑張ればいい。

今にある自分は日々の自分を重ねてきた自分である。就活の直前で急変身することは難しい。そこで、学校のセミナーや就職支援などのキャリアセンターを最大限に利用すべきである。自分をj知って、就活の流れに沿って、心身共に動き出せばきっと何とかなると信じていることができる。（原文のまま）

*注

上記は紙面の都合上、要約版になっております。全文閲覧をご希望の方(会員)は就活情報支援委員会スタッフまでご連絡下さい。



就活情報支援委員会からのお知らせ

(就活情報支援委員会 岩瀬暢男)

2017年4月入社の就活スケジュール



2017年4月入社の就活が3月1日にスタートしました。2017年3月卒業(学部)または修了(大学院)(以下、卒業)および、2016年9月卒業の留学生が主な対象となります。経団連(日本経済団体連合会)や大学が取り決めをしているスケジュールで、多くの日本企業(経団連会員企業 1334社)が現在この日程で進んでいます。一方、経団連非加入企業についてはこのスケジュールの制約を受けませんので、就活の自由さがあります。

留学生の多くは大学の就活窓口、友人、就活情報企業等からの情報によってインターンシップ、企業説明会への参加などの活動を開始していると思いますが、一方、進路に対する迷いや、日本の就職制度とスケジュールへの理解不足、自身の情報欠如から就活の進め方について不安を持っている学生も見受けられますので、チューター会員から気づきの語り合いを進めることも必要かと思われます。留学生に多い秋入学者については卒論/修論作成と就活が重なることから、特にスケジュールに留意しておくことが望めます。

就活情報支援委員会では留学生の就活に関するQ&A集、RKK 留学生の就活事例集、チューター支援事例集ほか留学生の就活に関するデータを集積して、会員の皆様からの相談に応えられる体制を整備していますので、必要に応じてご利用ください。これらの情報はWeb上でいつでも利用できるように現在、準備を進めているところで。



留学生の就活サポートについて

(南地区 高員忠宏)

私がRKKで受け持っている留学生は、中国の男子学生で現在は横浜国大の大学院修士課程に在学中の朱さん一人だけです。朱さんの就活についてのサポートに関連して記憶にある事柄をいくつか挙げてみます。

日本企業への就職

先ず比較的早い時期に、ご本人が日本企業での就職を志望していることが推測できました。(ただしこの時点では本人はその志望動機を明らかにすることにはややためらいがあるようでした。)

日本語学習については非常に意欲的でした。私の未熟な説明にも良く耳を傾けてくれました。発音では中国の人に共通の難点が認められましたのでその矯正につとめました。また、自由会話の時に話題をきっかけに日本の歴史や文化、生活習慣の違いなどをいろいろ紹介しました。(中国の人は日本の歴史を殆どにも習っていないし知らないのではないのでしょうか。)

会社の選定

就活で会社の選定をする際には、超一流会社という知名度だけをもとに就活競争をしないようにということも伝えました。(本人の専門分野がシステム・エンジニアリング関

係であること、今年は日本経済の状況が良く会社の求人が活発であったことから、このことはあまり問題にならなかったようでした。)

数社のエントリーシートの校正をメールで依頼をうけました。本人から日頃いろいろな話を聞いていたことで、文字数制限のあるなかで原文の真意を正しく適切に伝えられる校正ができました。

面接

就活の面接では、いわゆる「平常心」で事に臨むことを助言しました。自分がよく知らないこと、勉強していないこと、出来ないことなどに背伸びをして受け答えをしなくても良いと。(さらに言えば、ふだんから自分がほかの人から100パーセント理解されることなど期待出来ないことであり、期待すべきでないことも。)

本人が最終的に就職する企業を決定して、そのことを報告するためにわざわざ横浜まで会いに来てくれました。そのとき私は言いました。「朱さん、日本企業に就職おめでとう。そして有難う。」その翌日上海に帰省する彼を前にして後日のお祝い会を約しました。

グループ活動だより [中国語学習グループ]



ちゅうごくごがくしゅうこうざ しんにんこうし RKK中国語学習講座の新任講師として

ちゅうごくごがくしゅうこうざ だん せりん
中国語学習グループ講師 段 毅琳

你们好！（皆さんこんにちは！）このたびRKK中国語学習講座の新しい担当講師となりました段毅琳（Duan yilin）と申します。出身は、中国の山西省で、刀削麵の発祥地として有名なところで。現在、横浜国立大学都市イノベーション学府博士課程に在籍しています。

中国語講座の講師は、以前より経験してみたいと考えていました。縁あって、2月から当講座の担当になれて大変うれしく思っています。日本語の会話がまだ十分できないのですが、皆さんとの交流を通して勉強を重ね、成長していきたいと考えています。いま、皆さんのお名前とお顔を覚えるのに

いっしょうぜいめい つかい せりん
一生懸命です。また、どのように伝えたら理解しやすいかを研究しています。皆さんの期待にお応えできるように頑張りますので、よろしくお願いたします。



トピックス

よこはまら くちゅうごくごりゅうがくせいがくしゅうかいしんねんかいさんかき 2016年横浜地区中国留学生学友会新年会参加記

しゅうかつ たい かんしん たか じっかん 就活に対する留学生の関心の高さを実感

横浜地区中国学友会の新年会が1月20日に神奈川韓国会館で開催され、RKKからは深水理事長ほか7人がゲスト参加しました。

深水理事長による乾杯の音頭を皮切りに、190人の参加者による新年を祝う楽しい交流の時間がスタートし、揚 梓会長のスピーチ、琵琶演奏、ゲームなどのイベントが次々と行われて一時間半があっという間に過ぎました。

この中で、来賓スピーチが就職支援についての話であったり、会場に就活相談コーナーが設けられて留学生はその場で相談ができた、またインターンシップや企業説明会に関するパンフレット

湘南地区 岩瀬暢男

すうだんたい お
を数団体が置くなどして、就活に対する留学生の関心の高さを実感しました。参加者は横浜国大生が最も多かったものの、他の大学からも予想以上に多くの学生が参加していたので多数の留学生と話ができて、新年会に相応しい大変賑やかで有意義な時間を過ごしました。



日本語の教え方ブラッシュアップ講習会



中・上級の学習者に比重をおいて 3回に亘り開催

南地区 古谷 清子

2月中旬から3月初旬にかけ、計3回に亘り日本語の教え方ブラッシュアップ講習会を開催しました。暦の上では春でもまだまだ寒さが続く中、39人の参加者が毎回河島先生の講義に熱心に耳を傾けました。

日本語母語話者には、当たり前すぎて問題にならないことが、外国語として習う立場になって改めて考えてみると、実はとても難しいことが分ったという意見が多く聞かれました。

秋の講習会が初めて日本語を教える人を主な対象にしているのに比し、ブラッシュアップ講習会は中級・上級の学習者を教える方々に比重をおいて企画して

います。

今後さらに充実した講習会にすべく、日頃の留学生への学習支援で会員の皆さま方が疑問に思っていること、是非学びたいと思っていること等、日本語グループまで、ご意見をお寄せ下されば幸いです。



新入会員の声

日本語の知識、能力を高める必要性を痛感

西地区 小林勝彦



私は、戸塚区役所でパンフレットを見て、RKKのことを知り「日本語の教え方講座」を受講し平成27年12月、RKKに入会しました。現在、大連外国語大学卒業の呉華章さん、北京出身杜過さんの二人の中国人留学生を担当しております。

呉さんと杜さんは、この4月より横浜国立大学修士課程に入学します。お二人とも日本語の能力は高く、新聞記事やNHK NEWS WEBの最新ニュースを教材にしたり、杜さんの家族との野沢温泉スキー旅行、呉さんの2月17日に行われた入試試験の苦労話などを中心に勉強しています。杜さんよりアルバイトをしたいので履歴書の書き方、テレボヤや面接の方法の質問があり、ロールプレ

イブを行いました。その結果、ファミリーマートでのアルバイトが決まりました。日常生活の必要な会話として、「買い物の仕方」、「風邪で病院に行く」、「内科問診票の書き方」などの練習をしました。4月より修士課程に進まれ、Power Pointで30分の研究発表の作成があるので添削の依頼があります。

中上級の指導法について、行き詰っていたところ、今回の河島先生の「日本語の教え方ブラッシュアップ講習会」は、大変役に立ちまして感謝しております。特に、「読解力(精読)」は、レポート・論文の添削と関係があり、「音読をさせない」「語彙リストを用意する」など参考になりました。日本語の知識・能力を継続して高める必要性を痛感しました。楽しく続けて行きたいと思います。

グループ活動だより [日本語指導グループ]

わたし にほんごしどう
私の日本語指導



T u t o r の たの
チューターは、ちょっとしんどいが楽しい！

西地区 小村俊二

【留学生との出会い】

ある日、コーディネートご担当の津田さんから声をかけていただきました。「小村さんにぴったりの留学生がいるのよ～。ホントにいい子なの！」と、わりと好みのクラスメイトに、思わず「オーケーです！」と答えてしまいました。(笑)

【希望に膨らむ若者を見た】

ご紹介いただいたのは「鮎子躍(パウ・シヤク)」さんという青年です。横浜国立大学の修士研究生として来日しました。彼は日本にあこがれ、建築学専攻で、隈研吾氏の建築が好きとのことでした。「東大の隈研吾教授の所に行きたいです！」と打ち明けられた時は、びっくりし、「津田さん、"ホントにいい子"だけど、凄すぎ～！」と心の中でつぶやいたものでした。

【週に一度の大切な時間】

最初は雑誌の記事で、プリント作成をし、メールの添削

などで、日本人ばい言葉使いを教えました。また大学教材の読み解き、N1問題などをこなし、入試直前は、面接の模擬練習です。いずれも彼の習得は確実に。私は驚くばかり。帰宅して、妻に「僕の10倍は頭がいいよ～！いや100倍かな。」なんて話をしました。

【共に喜べるって、イイ！】

出会ってから一年が経ち、無事願いを果たし、隈研吾教授のもとで、日々を過ごしています。私は巣立った子供を見守るような気分です。こんな楽しいチューターの役目をくださったRKKの皆様にご感謝いたします。



隈研吾氏設計による美術館



留学生の声



2015年9月1日に日本に着いた。日本に来る前に心配していたことがあった。「日本語が上手じゃないから友達ができない」とか、「日本人は私のことが好きじゃない」とか、「日本の文化やマナーがちゃん」と知らないせいで誰かを怒らせる」とか、このような心配が多数あった。

しかし、私が心配したのと逆に暖かく歓迎された。すぐに数人の友達が出来て、先生たちにも知り合いが出来た。私の日本語が文法的に正しくなかった時、言葉を間違ってしまった時、その方々いつも理解してくださった。マナーを守らなかった際、我慢して怒らずに「これはだめ」と

日本語をもっと上達させたい

フェリス女学院大学 ブラホワー ヴェロニカ (スロバキア)

か、「これは言わないよ」とか、優しく説明してくださった。そればかりではなくいろいろな場所や習慣などを教えてくださった。

日本に来てから一番よく聞かれたのは「どうして日本語を勉強していますか？」だ。実を言うとスロバキアで日本語が話せる人は少ないので、いい仕事が見つかると思ったからだ。しかし、この7ヶ月間日本にいたうちに日本語だけでなく様々なことに興味を持って来た。例えば、音楽とか落語とか。。。

これからも日本についていろいろなことを知りたい、たくさん友達を作りたい。そしていろいろなことをやってみたい。スロバキアにたくさんいい思い出を持って帰りたい。そして、日本語をもっと上達したい。(原文のまま)

グループ活動だより [文化・ファミリー交流グループ]

はなみかい お花見会

文化・ファミリー交流 G 徳屋英生

満開の桜の下で、恒例のお花見会がこども自然公園(大池公園)で開催されました。

花曇りの天気ではありましたが、留学生21人、家族4人、日本人21人の総数46人が参加し数々の料理、弁当に舌鼓を打ちました。



またハンガリー、パキスタンからの留学生は Chiken Curry, Polau を準備し、珍しいエスニック料理を楽しみました。お酒、料理、デザートなどでお腹がいっぱいになった後は、ウクレレの伴奏で日本伝統の春や桜の歌を合唱し時間の経つのを忘れるほどでした。

次回の再会を約し後ろ髪をひかれる思いで会場を後にしました。(徳屋)

留学生の声

"Cherry blossoms, Cherry blossoms, In fields and villages, As far as you can see, Is it a mist or clouds?" Japanese folk song. Truly, Cherry (Sakura) blossom is an amazing gift of nature which gives the mind a divine feeling. Eventually, Cherry blossom viewing or Hanami has become one of the most exceptional natural events in the spring in Japan. Since I came to Japan in 2013, I had chances to join Hanami for two times organized by RKK members. This year 3rd April in 「Kodomonon Shizen Koen」 Park, I explored Hanami in a different view point. The

Arifa Iffat Zerir

Ph.D. Candidate, Dept. of Urban Innovation,
Yokohama National University / Nationality: Bangladesh

event has made me realize the strong cultural and social bond of nature lover Japanese people. Sitting under the full bloom Sakura (Cherry) trees, sharing not only the homemade foods but also the inner thoughts among Japanese and internationals made the party environment more pleasant uncovering the openness and keen management of the Japanese nationals through respected RKK members. This unique seasonal event in Japan is such a joyful occasion that initiates new beginnings of lives every year along with cleansing of fatigued minds.



よろしくお願ひ致します

賛助会員のみなさまへ：ご支援ありがとうございます。

深田昌子、小久保佐恵子、杉田あずさ 鈴木輝夫、服部牧子 (敬称略)

新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

三輪征子 (中区)、田口伸一 (川崎市)、水沼早苗 (戸塚区)

島田信広 (旭区)、小島明子 (戸塚区)、鈴木嗣昭 (鶴見区)

西浦けい子 (神奈川区)、天羽友子 (鎌倉市) (敬称略)

グループ活動だより [社会・工場見学グループ]

2016年3月30日実施 第58回社会・工場見学会

- ①宇宙航空研究開発機構(JAXA)相模原キャンパス
- ②日本ゼットック株式会社 相模原事業所



日本の工場は整理整頓されていてとても清潔



私はベトナム人留学生のTHU(ツ)です。今回の見学を通していろいろわかってきました。宇宙航空研究、技術などについて詳しく説明してもらって、

宇宙船のビデオを見せてもらって、ある程度想像できてきました。

一番印象が残っているのは工場がちゃんと整理整頓されていて、とても清潔なことです。日本の会社の工場をよよく聞きましたが、今回は初めて自分の目で見て、実感しました。とても勉強になりました。将来日本の会社で働きたいと思います。

見学のときに難しい日本語がたくさん出てきて、わからないときもありましたが、RKKの方に一

LE THI ANH THU 早稲田外国語学校 (ベトナム)



生懸命説明してもらいました。英語や身振りを使って、絵まで描いてくれて、本当にありがとうございました。日本語の勉強にもっと力を入れていきたいです。また他の見学会に参加させて頂きたいです。よろしくお願いします。(原文のまま)



【社会・工場見学グループの報告】

社会・工場見学G 山口孝一

JAXA(宇宙航空研究開発機構)相模原キャンパスでは、「はやぶさ2」のイオンエンジンが無重力下、真空中において鼻の息ほどのパワーで如何に威力を発揮するなど、身近な事例に基づいて興味深い説明を聞くことができました。

午後から見学した日本ゼットックさんでは、日常

何気なく使用している歯磨き剤の製造工程の見学と口腔ケアについて貴重なお話を伺いました。日本のモノづくりが海外にシフトする中、モノづくりの現場を見ることは貴重な体験になったものと思います。

おもな活動(2016/2～2016/4)

スタッフミーティング

◇3/21 午前、サポートセンターR306にて28人のスタッフ参加のもと、2015年度第4回スタッフミーティングが行われ、活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからのC&C(報告・連絡そして相談)を実施した。またディスカッションタイムは、「2015年度を振り返って」をテーマに話し合った。

地区交流会

- ◇東地区:3/13に9人で地区交流会および懇親会を実施。
- ◇西地区:1/31に新入会員6人を含め24人の参加で交流会を実施。
- ◇南地区:3/26に8人の参加で中華街レストランにて交流会を実施。
- ◇北地区:3/12に8人で交流会を実施。神奈川県招聘研修生8人の研修報告会に参加。
- ◇中央地区:2/7にカナファンにて9人参加の交流会を実施。
- ◇湘南地区:3/12に12人が参加して交流会を実施。

活動グループ

- ◇日本語指導 G:日本語の教え方ブラッシュアップ講習会は、39人の受講で、無事終了。
- ◇文化・ファミリー交流 G:4/3のこども自然公園桜山でのお花見には46人が参加。
- ◇中国語学習 G:2月から新たな期に入り、11人が受講。
- ◇社会・工場見学 G:3/30 JAXA、日本ゼトック見学には28人が参加。

委員会

- ◇会員委員会:3/21 マッチング検討会を実施。
- ◇広報委員会:RKK ニュース 63 号の発行。ホームページは適時更新。
- ◇就活情報支援委員会:2/20に第4回委員会を実施。
- ◇企画委員会:助成事業の検討
- ◇会計委員会:月次精算・決算作業。事業計画立案。
- ◇事務室:理事会、スタッフミーティング、総会開催準備、会計委員会サポート活動

マッチング情報

過去6年間の推移

- ・2010年度から、2015年度までの日本語指導状況の推移を図示しました。
- ・人数等は、すべて延べで数えた数です。

STUDENT数・指導会員数・マッチング数の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015
STUDENT数	56	74	98	135	141	178
指導会員数	39	50	53	66	78	86
マッチング数	32	50	63	75	60	105

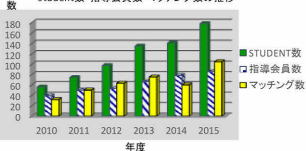
平均指導人数の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015
平均指導人数	1.44	1.48	1.85	2.05	1.81	2.07

- ・STUDENT数、指導会員数、マッチング数、平均指導人数すべての指数が過去最高を記録しました。

会員委員会 矢野 純

student数・指導会員数・マッチング数の推移



平均指導人数の推移



地区からのたより

北地区

平成27年度 神奈川県招聘海外技術研修員報告会に参加して



北地区 松井直子

神奈川県国際研修センターは昨年3月に閉館し、ドミー二侯川と名前も枠組みも変わりましたが、今年は、前年より倍増の8人の研修員が受け入れられ、3月6日(日)にその研修員の報告会と歓送交流会が行われました。

当日は県、研修受け入れ先、JOCA、支援団体より多数の出席者があり、RKKからは岩永、笹本、松井が出席しました。中国、マレーシア、インドネシア、ベトナム、ペナン、コモロ連合などさまざまな国々から来日した8人の研修員は、6か月の間に習得した専門

技術と日本文化とのふれあいについて発表をしました。公衆衛生、栄養学、水質検査、農業技術など生活に結びついた研究内容が多く、今後、神奈川県と自国のかけ橋となり活躍することが期待されます。またホームステイや地域の行事に参加して人との交流で得たことの興味深い発表もあり、短いながら充実した研修期間を過ごすことができたことを感じました。来年度も海外研修員を受け入れるという話もあり、今後も期待したいです。



湘南地区

多様なニーズに対応した指導状況の報告を中心に



湘南地区 山崎康啓

湘南地区の会員は現在19人で、大変にぎやかになってきています(昨年は13人、一昨年は7人でした)。実に多士済済で、実力派揃いです。

現在、指導中の学習者は21人ですが、その内非留学生(社会人)が4人で、非留学生の比率が他地区より高いのが一つの特徴になっています。

湘南地区の本拠地は、藤沢市市民活動推進センターですが、指導場所は横浜が多く約2/3を占めます(湘南で留学生の確保難が理由)。このため会員同士顔合わせする機会が少ないのが一つの難点ですが、それを補う役目をするのが、概ね年4回のペースで開いている地区交流会です。

交流会では各会員から指導状況を中心にした報告がありますが、指導方法、使用テキストなど様々で刺激的です。

学習者のレベルも様々で、新聞社説をスラスラ読み、理解する留学生、一方で日語全く初めての学習者。将来日語が必要な学習者から、必要ではない学習者。日本に就職希望しているかはいくつか。職業のための資格を取

りたい学習者などなど。本当にレベルもニーズも多様な学習者に対し、会員それぞれが工夫を凝らして学習者の希望に沿った指導内容が披露される。家族ぐるみの交流を通じた指導、宿題を出してフォローする、到達目標を与えてフォローする。楽しい指導の場、無理のない長続きする支援などなど。…活発な意見交換も行われ、時間超過しばしば。有意義な交流の場になっていると思います。



ホームページをお訪ねください



ホームページは随時更新しており、「会員のひろば」も開設致しました。
「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など
趣味の情報交換にも利用できます。

掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ : <http://homepage3.nifty.com/rkk/> または、 で検索

ホームページへのアクセスには、右コードをスキャンして下さい。
広報委員会では会員の皆様からの寄稿をお待ちしております。

広報委員会



会員募集中



RKK の活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。

入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。

詳しくは、Home Page(Web Site) で検索をお願いします。

よこはま夢ファンド

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の
制度があるをご存知でしょうか。

このファンドを通じて RKK の留学生支援活動を支援して頂けます。
ご協力をお願いします。

税制上の優遇措置など詳細は「よこはま夢ファンド」で検索して
当該のホームページをご覧ください。 (企画委員会)



NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先 : 〒245 - 0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール : rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax 045-813-8327

ホームページ : <http://homepage3.nifty.com/rkk/>



Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集 : RKK 広報委員会 春号担当 杉田慶子 April 19, 2016